



今年度も、感染症対策をしながらの学校生活が続いていますね。今年も自立活動だよりを通して、自立活動の考え方や、実際の支援に役立つ情報をお届けしたいと思います。

今回は、「基礎基本に戻ってみよう！」ということで、学習指導要領に立ち返ってみたいと思います。

「自立活動の目標」

引用:文部科学省「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動(幼稚部・小学部・中学部)」

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度、及び習慣を養い、もって心身の調和的発達¹の基盤を培う。

その中で「自立」「障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する」「調和的な発達の基盤を培う」の三点について、説明されています。一度確認してみてください。

↓ 自立活動って・・・

- ・自立を目指す主体は一人一人の子どもであり、子ども主体の学習です。
- ・各教科等の学習が十分にできる状態や生活の基盤を作ること。自立活動は、学習を積み上げていくための発達の土台をしっかりと作るものです。

主体は子ども



具体的な指導内容設定にあたっての留意点

○主体的に取り組む指導内容

自己肯定感

称賛



○改善・克服の意欲を喚起する指導内容

具体的な学習活動



○発達の進んでいる側面を更に伸ばすような指導内容

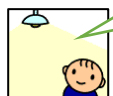
進んでいる面にも注目



○自ら環境を整える指導内容

環境の調整

必要に応じて依頼



○自己選択・自己決定を促す指導内容

考える

選ぶ、決める



○自立活動を学ぶことの意義について考えさせるような指導内容

ほくにとって「ほしい」と伝えることは人との関わりで大切



改めて読み直してみると、6区分 27 項目の内容を単に取り上げるだけでなく、上記の観点を踏まえて指導内容を見直していく必要がありますね。

参考文献 「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動(幼稚部・小学部・中学部)」文部科学省
「知的障害特別支援学校の自立活動の指導」全国特別支援学校知的障害教育校長会編著 下山直人監修 ジアース教育新社
「自立活動の指導」のデザインと展開 悩みを成長につなげる実践 32」北川貴章、安藤隆男編著 ジアース教育新社

今回は、子どもの発達段階に応じた教室の環境整備とスケジュールについてお伝えします。

教室環境



籠の中のイラスト



○自分の席の近くに提出物を置く場所があり、動線が交差しないよう工夫されています。



○机と椅子を使って場を整え、提出物をまとめておくようにしてあります。

【いろいろなスケジュール(予定表)】

先の見通しをもち、落ち着いて活動に取り組むための支援です。

一か月の予定



一週間の予定



一日の予定



子どもに合わせた環境作りは大切ですね。また、成長に合わせていくことも大切ですね。

図書の紹介

こんな本は、いかがですか？

「最新図解 自閉症スペクトラムの子どもたちをサポートする本」

榊原洋一著 ナツメ社発行

自閉症支援の初心者や、保護者の方におすすめです。

「自閉症スペクトラムの特徴や支援と治療」、「家庭でのサポート例」「園・学校でのサポート例」「社会自立に向けた支援」など、相談先を探したり、診断を受けたりする幼児期から、学校卒業後の就労支援、生活支援を考える成人期の内容まで、しっかりと網羅され、分かりやすい表記で解説されています。

一度、手に取って見てはいかがでしょうか。



参考文献 「よくわかる！自閉症スペクトラム理のための環境づくり」 梅永雄二監修・著 株式会社学研プラス
「自閉症児のための TEACCH ハンドブック」 佐々木正美著 学研